

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 106-0032
 住 所 東京都港区六本木六丁目7番6号
 氏 名 有限会社 川崎ホールディングス 印
 取締役 赤津 忠祐
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	有限会社 川崎ホールディングス		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区日進町1番地		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	M	宿泊業, 飲食サービス業
	中分類	75	宿泊業
主たる事業 の内容	ホテル		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	1,584	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	業務部施設課
		所在地	川崎市川崎区日進町1番地
		電話番号	044-221-2155
		FAX番号	044-222-8763
		メールアドレス	0
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第3号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第4号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第5号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 2,898 t-CO ₂ (調) 2,577 t-CO ₂	(実) 3,017 t-CO ₂ (調) 2,700 t-CO ₂	(実) 2,809 t-CO ₂ (調) 2,529 t-CO ₂	(実) 2,853 t-CO ₂ (調) 2,562 t-CO ₂	(実) 2,811 t-CO ₂ (調)
削減率		(実) -4.1 % (調) -4.8 %	(実) 3.1 % (調) 1.9 %	(実) 1.6 % (調) 0.6 %	(実) 3.0 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	延床面積		単位		t-CO ₂ /m ²	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値	
排出量 原単位等の値	0.1539	0.1602	0.1492	0.1515	0.1493	
削減率		-4.1 %	3.1 %	1.5 %	3.0 %	

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	猛暑であった為、電気・ガス等の消費が増え、温室効果ガスの排出量が基準年度より4%強増加した。
第2年度	震災の影響で利用者が減少し、電気・ガスの使用量が減少したことや、省エネ推進効果が見られた結果、温室効果ガスの排出量が基準年度より3.1%削減できた。
第3年度	震災後の集客落ち込みの反動もあり集客が持ち直したことや、ボイラーや空調機の経年劣化による効率低下などが響き、基準年度から1.5%の削減に留まった。 第1期計画期間では、各省エネ努力にもかかわらず猛暑・空調機の経年劣化等により目標値を下回るようになった。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ・エコ推進体制の整備 社内各部署からエコ委員を選出してエコ推進委員会を設けて全従業員にエコ推進を展開する。 ・主要設備等の保全管理 主要設備の管理標準を作成し定期的に見直し、包括的管理標準の作成をする。
	第 1 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・エコ推進体制の整備 エコ推進委員会の立上げ準備中に震災となり、急遽、省エネ推進チームを立上げ 使用電力制限に対応すべく活動を展開しています。 具体的には共用部の照明の減灯や、消灯、および省エネ型電球の積極的導入や、 空調の高め温度設定等エコ推進委員会以上の活動をしています。
	第 2 年度	<p>主要設備の管理標準を作成し定期的に見直し、包括的管理標準の作成をする。 蒸気配管で、一部むき出しになっている部分の断熱材ラッピングを行う。 冷凍機の蒸発器内の薬品洗浄を実施し、熱交換効率の向上を図る。 ボイラーメーカーにボイラーのチューニング整備を依頼し、空気比の調整などを依頼する。</p>
	第 3 年度	<p>客室空調温度設定の見直しや、節水シャワーヘッドの追加導入、ボイラー更新計画、冷却水・冷水二次ポンプのインバータ制御などの計画立案と予算化を行った。 第 1 期計画期間では、エコ推進体制の確立・各設備の運用見直しを図るとともに、次期に向けての改善計画を立案できた。</p>
自動車等 (第 3 号該当者等)	計 画	
	第 1 年度	
	第 2 年度	
	第 3 年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<ul style="list-style-type: none">・ 廃棄物の減量化・分別化の推進を図る。・ グリーン購入の推進をする。・ 川崎温暖化対策推進会議（CC川崎エコ会議）への参加をする。
第1年度	・ 廃棄物の減量化・分別化を各部署で徹底し、コピー用紙等裏紙の再利用を推進した。
第2年度	・ 客室ベッドメイク不要カードの作成と宿泊者へのエコ協力の呼びかけを実施した。
第3年度	・ 社内会議のペーパーレス化、書類のPDF化とメールでの送受信で、紙の減量化をより推進した。 第1期計画期間では、計画内容の活動を進め省エネ意識向上が図れた。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	3,009	t-CO ₂
(調)	3,006	

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500k1以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎日航ホテル	川崎市川崎区日進町1番地	7511	ホテル	3,009 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1以上1,500k1未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500k1未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500k1 未満	
300～400k1 未満	
200～300k1 未満	
100～200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--